

南のひと 25

写真・文＝水野暁子

八重山で共に暮らす島人を撮影したシリーズ。暮らしの中から見つめる被写体に共感と敬意を込めて撮影している。



竹富島出身の内盛美咲さんとは、一緒にいるだけで彼女の笑顔に誘われて、こちらも「ふふふ」と自然に笑みがこぼれる。両肩が少し上がるような「ふふふ」という笑いだ。そんな彼女からは、島の穏やかさやおおらかさを感じて一緒にいると心が和む。

五人きょうだいで長女の美咲さんのことは、小さい頃から三回に渡って撮影している。最初にカメラを向けたのは、彼女が十歳ぐらいのころで飼い犬のクンタも一緒だった。小学生の美咲さんと歩くクンタは彼女の隣でとても大きく見えた。少し困ったような笑みを浮かべながら引っ張られるようにして歩いている美咲さんの姿が印象的だった。

二回目の撮影は、美咲さんが高校を卒業して本土へと旅立つ前だった。セーラー服姿の美咲さんを写したくて声をかけた。この時もクンタは彼女と一緒に写真におさまった。三回目は彼女が成人した年のお正月、着物を着た美咲さんを囲んでの家族写真にクンタも一緒に写っていた。

そんな風にいつも側にいたクンタは、今年の七月七日、七夕の日に天国に逝ってしまった。十六歳だった。学校から帰って来た娘から小さい声で「クンタ死んじゃったって」と告げられた。

その日の夜、美咲さんの SNS の投稿には、笑顔の彼女の横でクンタも笑っているように見える写真と共に、クンタへのお別れの言葉が綴られていた。

——くんたのお姉ちゃんです。ありがとうございました。



水野暁子 みずのあきこ
1973年千葉県に生まれる。1986年に家族とアメリカへ渡る。1996年 School of Visual Arts (New York) を卒業。1999年に竹富島に移住。現在子育てをしながら撮影活動中。

●島人へのインタビューをまとめて紹介している YouTube チャンネル「八重山ライブラリー」も。